

# 自然と伝統が織る和歌山の日常

WANG WENDA

経済学部 私費外国人留学生 中国

今年4月、私は和歌山大学経済学部に入學し、これまで約2か月間、和歌山で生活しています。和歌山での暮らしは、これまでに経験した東京や大阪のような大都市の生活とは異なる雰囲気があります。ここには高いビルや混雑した電車はなく、代わりに豊かな自然と穏やかな時間が流れる落ち着いた生活環境があります。最初は静かすぎると感じることもありましたが、今ではこのゆったりとした生活に心が癒されています。私は実際の体験を通して、「自然と伝統」「生活の体験」「文化交流」の3つの面から、和歌山の魅力を紹介したいと思います。

まず、自然と伝統についてです。先月、私は那智勝浦町にある那智の滝と熊野那智大社を訪れました。実際に目の前に立つと、写真では伝わらない迫力がありました。滝の音が体に響いてきて、しばらく何も考えずにただ水を眺めていました。まるで自然に心を洗われているような不思議な感覚でした。熊野那智大社は鮮やかな朱色でしたが、まわりの緑とよく調和してお



り、美しい景観をつくり出していました。そこに立っただけで、自然と人間が昔から共に生きてきたことを感じました。私にとって、ここを訪れた時間は観光というより、自分自身と向き合うような大切な時間になりました。滝の前で立ち尽くしていると、普段の忙しさや、つい結果ばかりを気にしてしまう自分に気づきました。そして、「もっと丁寧に日々を過ごしたい」「自然のようにおおらかな心を持ちたい」と思うようになりました。ただ自然を「見る」だけでなく、自然の中で「感じる」「考える」ことができた、貴重な体験だったと思います。

また、和歌山城にも行きました。このお城は16世紀に築かれた歴史ある建物で、現在は重要文化財にも指定されています。天守閣からは和歌山市内や遠くの紀伊山地を一望することができ、自然と都市が調和している感じが感じられます。城内の資料館では、昔の人々が山や川の資源を上手に使って暮らしていた様子が展示されており、自然と共生する生活の知恵に感動しました。

次に、生活体験についてです。和歌山は柑橘類、特に「紀州みかん」の名産地として有名です。先日、友人と一緒に地元の市場に行き、採れたての新鮮なみかんを買って味わいました。甘酸っぱい味が口の中に広がり、まさに自然の恵みを感じる味でした。農地では自然調和型の栽培法が受け継がれ、市場では新鮮な蜜柑が並び、みかんを使ったジャムやお菓子なども販売されています。また、和歌山はみかん以外にも、梅やしらす、鯖寿

司、そして地元の野菜や海産物など、多様な食材に恵まれています。特に南高梅は全国的にも有名で、梅干しや梅酒として親しまれています。こうした食材が、家庭料理から土産品にまで幅広く活用されており、暮らしの中で自然と食文化が結びついていることを感じました。

大学キャンパスは山に囲まれた静謐な環境で、教室の窓からは四季折々の自然の移り変わりを眺められます。春には桜、初夏には新緑が広がり、授業の合間に校庭を散策すると、鳥のさえずりや風の音だけが聞こえ、自然の中で学ぶ心地よさを感じることができます。また、私が住んでいる学生寮は大学のキャンパス内に位置しており、教室までは歩いて



わずか5分ほどです。そのため、朝は慌ただしく準備することなく、落ち着いて朝食をとったり、コーヒーを飲みながら一日の予定を整理したりする余裕があります。授業の後もすぐに部屋に戻って、好きな音楽を聴きながら課題に取り組んだり、時にはベンチで本を読んだり、自分のペースで穏やかに過ごしています。こうした環境にいて、時間に追われず、自分のリズムで生活できていることを日々実感しています。

そして、文化交流についてです。和歌山大学には、世界各国からの留学生が在籍しており、国際的な雰囲気があります。授業では、各国の学生が自国の文化や生活について紹介する機会があり、違う国の習慣や考え方を知ることができ、自分の視野が広がります。私もそこで新しい発見を続けています。私は「国際交流委員会（IEC）」にも参加しており、日本人学生と一緒にさまざまなイベントに参加したり、日本語の表現を教えてもらったりしています。交流会では関西弁の言い回しや使い方も教えてもらい、より日常会話が楽しくなりました。最初は言葉や文化の違いにとまどうこともありましたが、みなさんはとても親切で、わからないことがあってもすぐに助けてくれます。今では、自分から積極的に話しかけることもできるようになり、人とのつながりがどんどん広がっています。

このように、和歌山での生活は、自然の美しさと伝統の深さ、そして人とのあたたかいつながりを感じられる貴重な体験です。大都市のようなストレスがなく、自分のペースで生活することができるため、毎日が新しい発見と学びの連続です。ときには日本語の壁や文化の違いで悩むこともありますが、和歌山の穏やかな環境とやさしい人々が、私に前に進む勇気を与えてくれています。これからもこの素晴らしい土地で、もっと多くのことを学び、成長していきたいと思えます。そして、将来はここでの経験を活かして、人と人、文化と文化をつなぐ役割を果たしていけたらと考えています。

# 自然与传统交织的和歌山

王闻达

经济学部 私費外国人留学生 中国

今年4月，我进入和歌山大学经济学部，已经在这里生活了两个月。和东京、大阪相比，和歌山更安静，节奏也更缓慢。刚来时我觉得有些冷清，但渐渐发现，正是这种宁静，让我慢慢沉下心来，重新认识自己，也体会到另一种生活的美好。

上个月，我去那智胜浦参观了那智瀑布和熊野那智大社。站在瀑布前，水声轰鸣，震撼心灵。我站了许久，脑中一片空白，仿佛心灵也被洗净。那一刻，我意识到自己平时总是匆匆忙忙，很少静下心来感受自然。熊野那智大社的朱红色建筑与绿色森林交相辉映，让我重新思考人和自然的关系。

那片自然与神圣交织的空间里，我体会到平时被目标和效率驱动的自己内心的浮躁和不安。在那里，什么都不做，单纯聆听水声和风声，让我感受到大自然给予的力量和自由。这种体验让我更加珍惜与自然共处的时光。

我也参观了和歌山城。从天守阁望出去，城市与群山交织成一幅美丽的画。馆内介绍了过去人们如何依山傍水生活，善用自然资源，让我更理解“与自然共生”的智慧。这些历史让我感受到人与环境之间的深厚联系。

生活方面，我在市场上尝到了新鲜的纪州蜜柑，酸甜可口，仿佛阳光的味道。市场上还有蜜柑果酱、点心等衍生产品，展现了当地人对四季食材的珍惜与丰富创意。除此之外，和歌山还有名产梅干、梅酒、白饭小鱼、鲭鱼寿司等地方美食，不论是家常菜还是特产，都让我感受到这片土地丰富多样的饮食文化。

我的宿舍在校园内，走路五分钟就能到教室。每天早上不用赶车，可以从容吃早餐，慢慢计划一天的学习和生活。课间散步时，耳边只有鸟鸣和风声，远离城市喧嚣。这种自然包围的环境让我更专注学习，也感到放松自在。下课后，我常在房间听音乐、看书，自由安排时间，过着属于自己的节奏生活。

我发现，这样的生活节奏让我不再被时间追赶，有更多余地去思考、感受和成长。在这里，我体会到“自我”的重要性，学会在快节奏的社会中找到属于自己的慢调。

文化交流方面，我结识了来自世界各地的留学生，大家在课堂上和活动中分享文化和想法。我加入了国际交流委员会，和日本学生一起组织活动，学到了很多实用日语，也接触到风趣的关西方言。刚开始时语言和文化的差异让我有些不安，但和歌山的学生都非常热情，愿意帮助我。通过不断交流，我变得更自信，也结识了许多朋友。

这段时间的生活不仅让我提高了语言能力，也加深了对多元文化共存的理解和尊重。和歌山的包容与温暖让我感受到家的感觉。

在和歌山的生活，已成为我人生中宝贵的经历。这里的自然、历史和人情交织成一个适合成长的环境。尽管面对语言和文化的挑战，正是这份宁静与包容给予我前行的力量。未来，我希望继续探索这片土地，把在这里的体验化为跨文化交流的桥梁，传递理解与友善。